

謹啓

年が明けて新鮮な空気が漂うのかと思いきやコロナ感染症関連で在京の皆さまは大変な状況になっておられるものと拝察いたします。我が佐世保保でも荒れ狂っている今日この頃でございます。

私は佐世保北高昭和三三年（一九五三）の第一〇回卒業生です。皆貧相な身なりで学校に行っていました。同期は吉澤均君らがいます。近年他界する者が多くなりました。北十会と称し毎年欠かさず同期会を開催しております。小生が一応代表を努めております。しかし令和元年傘寿の会を開催して以来、友と集う機会がありません。

昭和三三年（一九五八）一月一八日親和銀行京町支店で「佐世保史談会」が誕生いたしました。会長は江口礼四郎（一八九八～一九二二）、当初の会員は一三名、月に一度の例会は市立図書館で開催されてきました。翌年の四月に『談林』創刊号を発売しています。以来今年度で六二号を数えております。

平成一四年に我が史談会の協力で「佐世保市百周年市史編纂事業」七巻の発行を終えました。その計画中に『佐世保人物事典』の編纂が計画されていきました。しかし諸般の事情で発刊に至らず、多くの資料が収集しましたが市立図書館に残され、以来二〇数年の歳月をみました。

平成二二年（二〇一〇）七月、同史談会五〇周年事業でふるさと再発見として『佐世保史跡探訪』を発売し、多くの団体や地域の人々、在京の人々や地域の歴史を明らかにしました。会員の総力を挙げて世に問うた書でありました。皆さまのお蔭で、好評のうちに閉じさせて頂きました。貴会の皆さまにはご協力を戴き有難く思っております。

あれから一〇年の歳月を経て、今回佐世保史談会六〇周年記念として「知る・学ぶ・伝える」・「ふるさと再発見」―『佐世保人物事典』の発刊に漕ぎ着けました。平成二八年度の総会に提案し、会員の賛同を得てスタートしたわけです。足かけ六

年もの歳月がかかり、全てが順調ではありませんでした。会員の総力を挙げて取組みでやっと今年度発刊に漕ぎ着けたことを嬉しく思います。

いつの世もそうですが、歴史の片隅で人は紛れもなく生きてきました。先史時代の人も、古代・中世の人もその痕跡を随処に残しており、生きてきた証が近年明らかになってきました。その度に「佐世保人」たることに誇りを持つことになりました。我がふるさと「佐世保」に人の生きた証を掘り起こす試みは並大抵のことではありません。

近年明らかになった古い時代の調査、その世を駆け巡ったのも活動するのは我々の祖先の「地域人」なのです。こうした長い時代を経て、明治二二年（一九八九）四月、「佐世保鎮守府」が開庁しました。単なる一漁村だった佐世保に開拓の槌音が響き、将にゴールドラッシュのように近隣から多くの人が佐世保を目指して来ました。そこで新しい都市が形成されていきました。佐世保に目を付けたのは政府でしたが、確かに私たちの先達が近代佐世保の礎を築いてきたことはいまでもありません。その歴史の変遷の中で、多くの人が入りし、佐世保から全国に通じる新しい文化を発信してきました。

特に、近代になって戦争とともに、街並や道路、煉瓦倉庫群、船渠、学校、病院、景勝地など確かにこの地で情熱をこめて生きた人の歴史もあります。

その土台を造り、守ってきたのは人です。戦後、焼け跡から立ち上がった人々、佐世保空襲を語り継ぐ人や大陸から引揚げてきた人、米軍の将兵との交流を進めた人もいました。華やかな繁栄の陰で涙を流した人もいたはずです。

戦後荒れたこの地を復興し、この街の発展に力を尽くした人の姿が見えなくなり、終焉を迎える人も少なくはありません。

彼らは郷土の美しさや素晴らしさを忘れる筈はありません。人の優しさややすらぎを感じることもなく、生きていくための夢や志しどこかに必ず持っておられた

と思います。そんな人が佐世保に帰り、ほっとするような街にせねばりません。あちこちに人が溢れ、この地から文化を再発信する街にする気持ちをもっていきます。その原動力は人なのです。この『佐世保人物事典』が佐世保の未来に役立つことを願ひ、祖先を敬う心やひいては故郷を愛する心につながれば、努力も多少は報われ、と思うのです。

今回縁あって皆さまをご紹介して頂きました。東京佐世保事務所の伏原所長は私の大切な教え子でもあります。その事務所に保管させて頂いておられますので、どうぞ閲覧のほどをお願いいたします。

なお、私中島は北星会の一〇回生の理事をさせて頂いております。ご希望に沿うように送付させて頂きます。できればまとめてお申込み頂けば幸いです。ご希望に沿う本来ならばこちらから出向きお願いをいたさねばなりませんでしたが、こういう時節でもあり宜しくお願い致します。

発行する『佐世保人物事典』はA5版一四〇〇円位になります。(送料込み)
三月中旬には発行予定です。

敬 具

令和四年二月吉日

佐世保史談会会長 中島 眞澄

東京北星会会長 堀口 清澄様